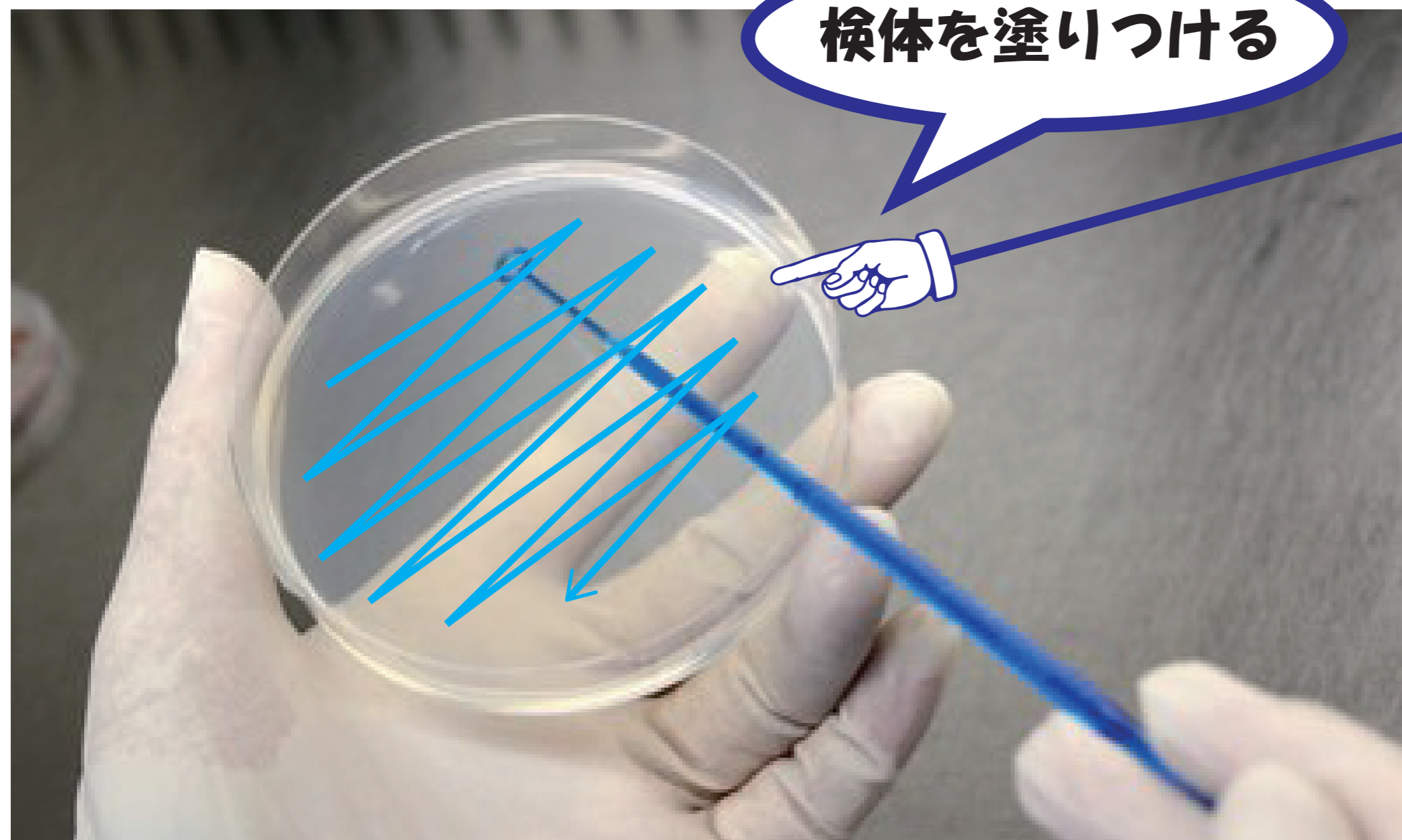


# 卓上型自動培養装置

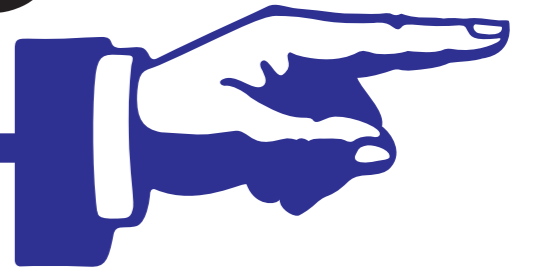
## 現状の細菌培養作業



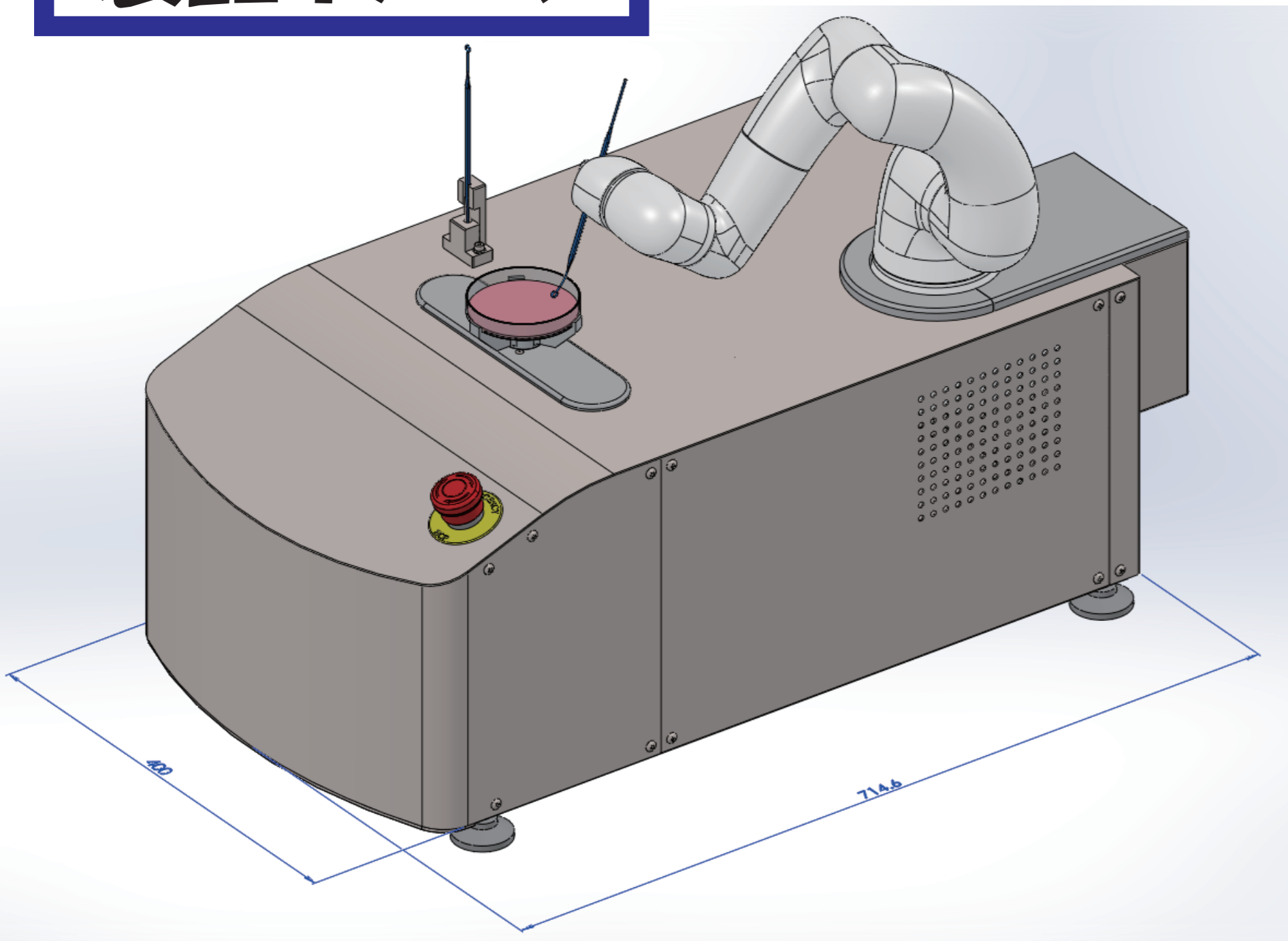
検体チューブ

手作業になると...

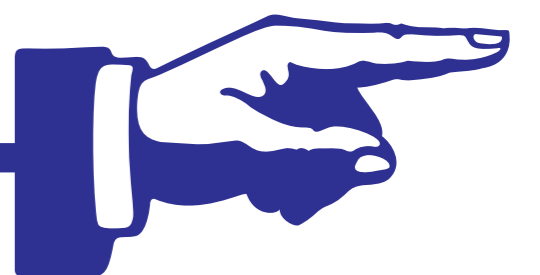
- ・夜～早朝の作業負担で人手不足
- ・手作業の為、バラつきが出てしまう
- ・感染などの危険性がある



## 製品イメージ

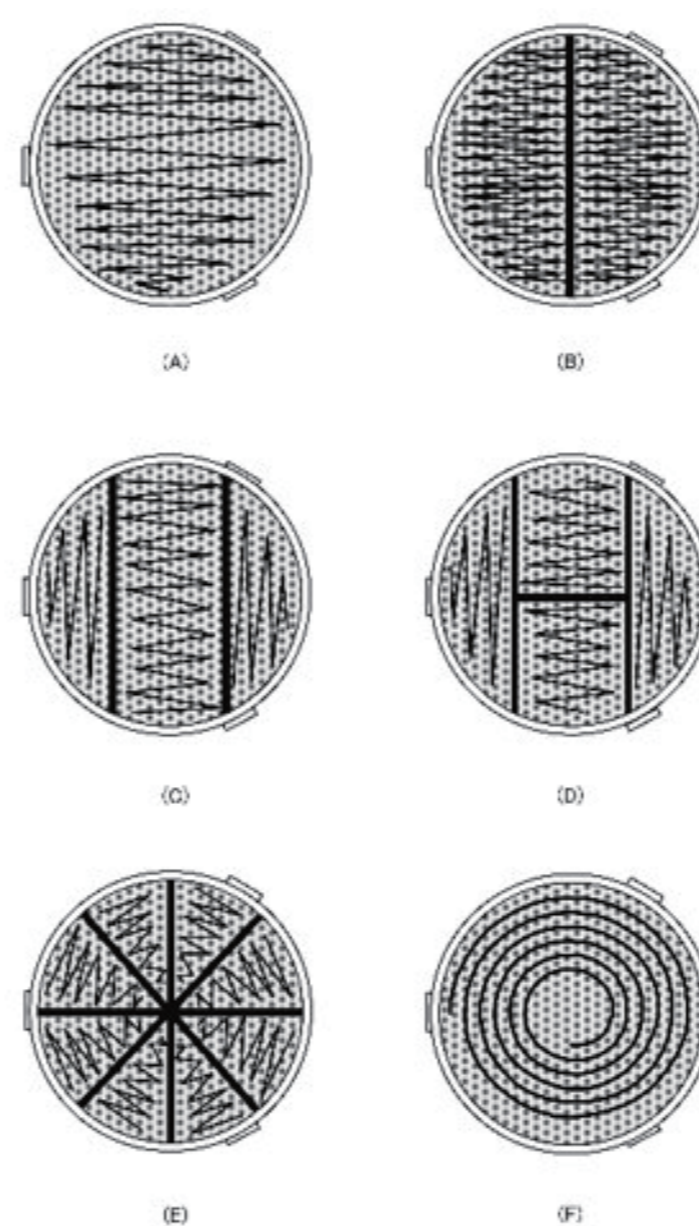
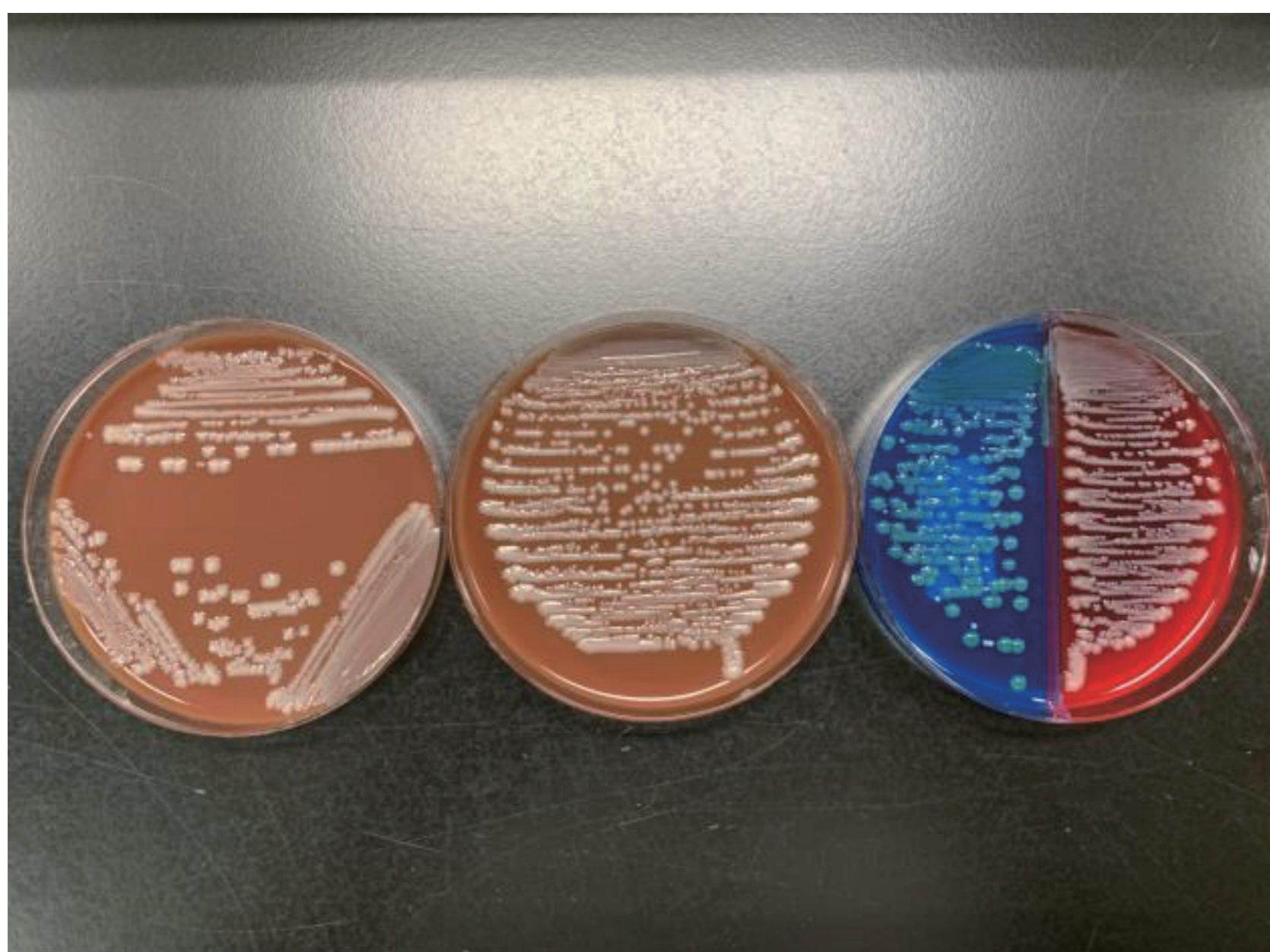


- ・新型協調ロボットにより、卓上で自動化が可能
- ・タブレットから簡単に操作が可能
- ・ロボット+回転+移動機構により、様々なパターンに対応



## 培養結果

※例:胆汁



↑ ※タブレット操作画面

↑ ※様々なパターン例

☆ 熟練作業者と同等な培養結果 (分離性能※) が得られます。

※調べる検体には多数の菌が集まっており、単独の菌ごとに培養する必要があります。

三回塗抹  
(とまつ)

平板  
(へいばん)

分画  
(ぶんかく)